

読解 究極

第 **2** 回

心情なんかわかりません——か？

入門編・小説2 心情の「書き方・読み方」

目標・「心情の書き方読み方」をマスター

入試小説の設問パターンに慣れる

試用見本版



あんとんねーけど
ほんこんやれよ！

……
……
……
……
……
……

——千葉県の落花房雄さん

1 自分の心情もわからないの……

この回の目標は小説読解の本命、心情の読み取り、です。

「他人の考えていることなんか正確に読み取ることができるとですか？」という疑問をいただいているあなた、実に鋭い。そのとおりです。他人の考えていることなど本当はわかるはずがありません。下手をすれば、自分が「なぜあのとき、あんなことをしたのかいまだにわからない」ことさえあるのですから。

仮に本人が言ったことだつてどこまで信用できるか……。

だから学習してもむだ……いやいやちがいます。「小説における登場人物の心情」なら読み取ることができますし、そのことを通じて、多くの人間に共通の考え方・感じ方・言葉の用い方などを知ることが大切なことです。

作者とその代理人はウソをつかない

人間はウソをつきます。いや、別にあなたを大ウソつきだといっているわけではありませんが、ウソを一回もついたことのない人は、ちよつと想像がつかないと思います。

だから、心情など読み取れない、となるわけです。

でも、小説においては次のルールがあります。

版見用試

「語り手はウソをつかない」

語り手とは小説を物語っている作者または主人公のことです。

次の文を読んでください。

「ああ、また記号を間違えて書きちゃった」と伊藤は肩を落とした。彼は自分が情けなくて泣きたい気分だった。

この文では、作者が伊藤について書いています。この場合、伊藤のセリフが彼の心情を正しく伝えているかはわかりません。ですが、説明の部分「泣きたい気分だった」は正しい説明である、というのが小説世界のルールです。これを疑ったら、読んでもわけがわかりません。つまり、作者による説明は、原則として正しいのです。では、次の文をどうぞ。

私は「ああ、また記号を間違えて書きちゃった」と言つて、肩を落として見せた。だが、そのときの私の本心はちがった。失敗がうれしかったのだ。

このような、主人公自身が物語るパターンの小説では、主人公の

説明は正しいというのが原則です。ですから、このときは「うれしい」が正しいのです。

小説は、セリフと地の文でできています。セリフでない部分を「地の文」と呼びます。「地の文」は、作者による説明です。ですから、ここは正しいということがルールなのです。

さて、問題作成者は「これが正解だ・他は×」と確実にいえるように問題を作る、ということはおぼえていますね。ということは、問題作成者が地の文とセリフのどちらを重要視するか、もうわかりますね。はい、地の文です。地の文こそ正しいといえるからです。一方、セリフをあまり重要視すると「本当にそうか？」と突っ込みを入れられるという危険があります。セリフはあまり信用ならない。むしろ、セリフと本心のギャップが問題のネタになると考えておいていいくらいです。

2

マンガでは、心情はこう描かれる

では、問題の実例です。解答を書いてください。

試用見本版

■例題1 A 次のマンガを読んで、問いに答えなさい。





問1 コマ④で監督は、なぜ困っているのでしょうか。その理由として最もふさわしいものを、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア この補欠選手の技術が信用できず、試合に出して大丈夫なのか心配だから。

イ この補欠選手は先週怪我をしたばかりで治っていないおそれがあるから。

ウ この補欠選手はウクライナ国籍のため、試合に使うのは規則違反だから。

エ この補欠選手が今日の夜、何を食べるつもりでいるのかわからないから。

問2 コマ⑤のセリフの続きを想像して五字から十字で答えなさい。なお、句読点や記号は用いないこと。

試用見本版

問1は、変な問題だと思いましたね。ウやエを選んだ人は少ないでしょう。苦しまぎれにアを選んだ人が多いのではないのでしょうか。本当は「正解なし」です……すみません。ひどいことですが、どれを入れても一応正解になってしまいます。なぜかというところ、マンガ本体が説明不足だからです。「エなんか関係ないだろう」といいたい気持ちはわかりますが、絶対にありえないとはいきけません。と、いうよりも、どの選択肢でも、確実に「これだ」といえる根拠がないのです。

この例題、「このような問題を作つてはいけない」という例なのです。問2は「がんばってこい(七字)」であるとか「全力で戦ってこい(八字)」などでしょう。他にも正解はありえます。似たようなセリフで指定字数に収まっていれば正解です。こちらは、それまでの流れからそう言わざるをえないところでしょう。

では、問1を納得できる問題にするためにはどうすればいいのでしょうか。それは、説明を補足して、理由を推測できるようにしてやることです。では、改良型の問題です。同じマンガで、少しアレンジしました。解答してください。



■例題1B 次のマンガを読んで、問いに答えなさい。

試用見本版

問1 コマ④で監督は、なぜ困っているのでしょうか。その理由として最もふさわしいものを、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア この補欠選手の技術が信用できず、試合に出して大丈夫なのか心配だから。

イ この補欠選手は先週怪我をしたばかりで治っていないおそれがあるから。

ウ この補欠選手はウクライナ国籍のため、試合に使うのは規則違反だから。

エ この補欠選手が今日の夜、何を食べるつもりでいるのかわからないから。



問2 コマ⑥のセリフを言っている監督の心境の説明として最もふさわしいものを、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 選手のケガのことを多少心配しながらも、全力でぞむよう応援している。

イ 選手の技術がどうしても信用できず、送り出したことを後悔している。

ウ 選手の国籍がばれることが心配で、力強く送り出しながらも気がでない。

エ 選手のケガが治っていないことに気付いたが、覚悟を決めて無事を祈っている。

こんどは解けたのではないのでしょうか。

問1は、今度こそウとエは「退場」です。⑤のコマが入ったことで、この選手の事情がわかりましたね。イが正解です。

問2で可能性があるのはアとエですが、エを選ぶ根拠はマンガの中にありません。可能性として絶対無いとはいえませんが、ここはアを選ぶべきです。設問を読み直すとわかります。「最もふさわしいもの」と書いてあります。「正しいもの」ではありません。アとエを比べて、より多くの人が納得できるものを選びということです。エは、かなり無理な解釈をしないと成り立ちません。

このようにマンガでも、心情を理解させるためにいろいろな方法を使うことがわかったと思います。そこで、もう一回、同じ場面をアレンジします。セリフは変えませんが、解いてください。

試用見本版

■例題1C 次のマンガを読んで、問いに答えなさい。



問1 省略

問2 コマ⑥のセリフを言っている監督の心境の説明として最もふさわしいものを、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 選手のケガのことを多少心配しながらも、全力でのぞむよう応援している。

イ 選手の技術がどうしても信用できず、送り出したことを後悔している。

ウ 選手の国籍がばれることが心配で、力強く送り出しながらも気がでない。

エ 選手のケガが治っていないことに気付いたが、覚悟を決めて無事を祈っている。

正解が変わりましたね。なぜなら、セリフは変わっていないのに、心情が変わってしまったからです。そう、今度は「ケガが治っていないこと」がわかってしまったのです。そのせいで、セリフどおりの心情ではなくなっていました。

試用見本版

こちらの正解は例題1Bとは変わってエです。何が心情を読み取る手がかりになりましたか。

前のページのマンガのコマ⑤と⑥の「手がかり」の部分にマークしてください。

できましたね。

絵柄では「汗」ですね。面白いことに、この汗はもともと文章における「冷や汗をかいた」からマンガに転用されたのだと思います。そして、マンガの表現技法だったマークが、最近では文章に「逆輸入」されて使われるようになりました。おっと、逆輸入なんてちょっと気取った表現でしたね（汗）——やれやれ、こんな感じですね。また、コマ⑤⑥の人物の表情（後頭部まで）同じ絵なのに「汗」のせいで表情が違って見えますね。かなり効果の大きいマークなのです。次に、セリフのわく（ふきだし）の外にあるセリフとも心情ともつかない言葉「う…」「いや…むむ…」など。これで、セリフが本心とは異なっていることを暗示します。最後に擬音語「グキユ」ですね。これらの部品が描き加えられたため、絵とセリフはまったく同じですが、異なったストーリーになってしまいました。マンガはこれでおしまいです。

3 マンガがわかれば小説も同じ

実は、小説の表現は、たった今、マンガで見たのと同じように組み立てられているのです。実例として、同じ場面の例題です。設問を読んだら、どこが心情を理解するための手がかりになるか、線を引くなどしてください。

■例題2A 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

黒田は先週の試合でケガをして、補欠になった。しかし、今日の試合でまたケガが出てもう選手がいない。彼は監督に「自分が出る」と名乗り出た。監督はうつむいて考え込んでしまった。

「ほら、ね、大丈夫でしょ」彼は笑顔で先週怪我をした左肩をぐるぐる回しながら監督に言った。

「ほお……」

監督はもう一度うつむいたが、顔を上げて言った。

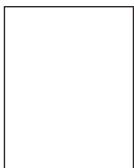
「よし、行ってこい！」

言い終えると力強くコートをにらんだ。

版 本 見 用 試

問 — 線①を言っている監督の心境の説明として最もふさわしいものを、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 選手のケガのことを多少心配しながらも、全力でぞむよう応援している。
- イ 選手の技術がどうしても信用できず、送り出したことを後悔している。
- ウ 選手の国籍がばれることが心配で、力強く送り出しながらも気が気でない。
- エ 選手のケガが治っていないことに気付いたが、覚悟を決めて無事を祈っている。



解説はもういりませんね。しつこいようですが、次に、今の設問のアレンジ版です。

■例題2B 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

黒田は先週の試合でケガをして、補欠になった。しかし、今日の試合でまたケガが出てもう選手がいない。彼は監督

督に「自分が出る」と名乗り出た。監督はうつむいて考え込んでしまった。

「ほら、ね、大丈夫でしょ」彼は笑顔で先週怪我をした左肩をぐるぐる回しながら監督に言った。が、その表情にかすかなゆがみが走った。

監督はその小さな変化を見のがさなかった。

監督はもう一度うつむいたが、顔を上げて言った。

「よし、行ってこい！」

言い終えると祈るような表情になった。

問 ——— 線①を言っている監督の心境の説明として最もふさわしいものを、次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 選手のケガのことを多少心配しながらも、全力でのぞむよう応援している。

イ 選手の技術がどうしても信用できず、送り出したことを後悔している。

ウ 選手の国籍がばれることが心配で、力強く送り出しながらも気が気でない。

エ 選手のケガが治っていないことに気付いたが、覚悟を決めて無事を祈っている。

版本見用試

4

入試問題に見るセリフの表裏

■例題3 長崎県 2009年度

正解が変わりましたね。キーワード（部分）は「表情にかすかなゆがみが走った」「小さな変化を見のがさなかった」「祈るような表情になった」などです。こうやって、心情を理解するための手がかりが、文章に書き込まれているのです。



最後に例題3の正解を書いておきます。

問1 エ

問2 機械に使われている(こと)。

問3 ア

問4 ① 今の世に生きている人間の生き様

② 人間だからできること

前回の内容もあわせてポイントをまとめます。

重要!

小説読解のステップ

0 「導入」からメモを作る

1 設問を読み「何」「を」「どこ」「答えるか、
にマーク

2 本文から解答の素材を「探す」

3 解答する

試用見本版

重要!

解答のルール

1 「〃字以内」は80パーセント以上書く

2 指定がなくても文中の言葉を用いる

重要!

小説の基本パターン

1 人物の間に何かトラブルがある

2 事件が起こる

3 状態がよくなる

重要!

心情読み取りのポイント

1 セリフは描写によって意味が変わる

2 作者の書いた地の文の描写

3 セリフとその前後の説明

